

東 鋳



令和8年1月1日

通巻 240 号

発行

東京鋳螺協同組合

<https://www.e-neji.org/>

東京都墨田区押上 1-32-12

TEL. 03(3613) 4141

ホームページでも
ご覧いただけます



『江戸の里神楽』

撮影場所

日暮里の諏訪神社

撮 影 日

2025 年 8 月 24 日

撮 影 者

昌栄支部
有限会社トキザキファスナー
時崎雅広 氏

目 次

年頭所感	理事長 新保 良孝	2
新年賀詞交歓会案内		2
第六十六回通常総会案内		3
干支を迎えて		4
二度目の干支を迎えて	高松 秀明	4
縁起物	深澤 一正	5
この頃想う	石川 隆一	5
還暦、ここからが面白い	木村 勉	6
6 回目の午年	吉田 賢一郎	6
委員会だより		7
福利厚生委員会		7
流通経営委員会		8
支部だより		9
城南支部 旅行記	城南支部	9
墨田支部 令和6年度総会	墨田支部	10
台京納涼会	台京支部	11
墨水支部旅行顛末記	墨水支部	11
港鋳螺会旅行会	港支部	12
山之手支部 旅行会レポート(新潟県)	山之手支部	14
昌栄青和会だより 合同懇親会	平渡 芳嗣	15
泰鋳会だより 泰鋳会臨時総会・忘年会	中村 圭人	16
新社長紹介		16
千神螺支部 (株)入部螺子製作所	田島 綾子	17
山之手支部 日本ケミカルスクリー(株)	判治 倫泰	17
シリーズ「私の逸品」(株)佐竹製作所	尾方 謙一	18
情報室 (株)トウヨーネジ	内田 佳菜子	19
第2回川柳コンクール 結果発表		20
組合員だより		21
計報		21
表紙の言葉(有)トキザキファスナー時崎 雅広		21
東鋳ゴルフ会		22
組合の会議から		22

年頭所感

年頭所感

理事長 新保良孝



明けましておめでとうございます。

2026年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。旧年中は組合活動に対し多大なるご支援とご協力を賜りましたこと、改めて厚く御礼申し上げます。

昨年も、世界的に見て政治・経済、さらには地政学的にも不安定な一年となりました。とりわけ「トランプ関税」に振り回された年でもあり、関税をめぐる一連の日米交渉は一応の決着をみたものの、自動車産業を中心に依然として影響は大きく、先行きには注意が必要な状況が続いております。

さて、本年2026年は21世紀が幕を開けてから四半世紀という、大きな節目の年でもあります。この25年を振り返りますと、私たちの生活は想像を超えるスピードで変化してまいりました。2001年当時、携帯電話は折りたたみ式で、インターネットはパソコンから接続するものでした。買い物は実店舗中心で、決済も現金が主流でした。

しかし現在、スマートフォンは生活の中心にあり、買い物や支払い、動画視聴から行政手続きまで、手のひらで完結する時代となりました。家電はネットにつながり、自動化やAIによる最適化が自然に組み込まれています。働き方も、紙の書類と出社が当たり前であった時代から、オンライン会議やリモートワークが一般的なものへと大きく様変わりしました。

こうした変化の中でも特筆すべきは、近年急速に進化を遂げた生成

AIの存在です。わずか数年前には想像もしなかったレベルで、言語処理や画像生成、分析といった知的作業が高度化し、ビジネスはもろん日常生活にまで広く浸透しています。四半世紀前には夢物語だった未来が、まさに現実となりつつあります。

このように生活様式が大きく変わる中で、私たちの事業環境もまた新たな局面を迎えております。商品管理・品質保証のデジタル化、トレーサビリティの高度化、環境対応、そして人材不足への取り組みなど、重要課題は一層重みを増しています。一方で、データ活用やAI技術の導入により、効率性と付加価値の双方を高めるチャンスも広がっております。変化の波を的確に捉え、確かな事業基盤を守りながら、次の時代へ向けて着実に歩んでいくことが重要であると感じております。

本年も、組合として情報共有や連携をさらに強化し、皆様の事業活動の支えとなるよう努めてまいります。

皆様にとって実り多い一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

新年賀詞交歓会案内

新年の賀詞交歓会を左記の通り開催いたします。

組合員が一同に会しての気軽なパーティーですので、お誘い合わせの上ご参加いただきますようお願い致します。

当日は、令和八年度干支（午年）に当たられる方々に、組合より記念品をお送りいたします。

期 日 令和八年一月七日（水）
時 間 午後五時～六時三十分まで
場 所 第一ホテル両国
会 費 三〇〇〇円

第六十六回 通常総会案内

組合では、令和七年度の事業報告及び決算報告、令和八年度の事業計画案、収支予算案のご承認をいただくため、このたびは台京支部のご担当により別記の通り「東天紅 上野店」において、第六十六回通常総会を開催いたします。組合員の皆様には多数のご出席を賜り、盛会かつ有意義に開催されますようご協力をお願い申し上げます。

なお、詳細ご案内は一月中旬以降に組合より発送いたしますが、委任状も兼ねておりますので、ご欠席の場合も必ずご返送ください。

開催日 令和八年二月十七日（火）
場所 東天紅 上野店

議案

- | | |
|------|---------------------------------|
| 一号議案 | 令和七年度 事業報告承認の件 |
| 二号議案 | 令和七年度 決算報告承認の件 |
| 三号議案 | 令和七年度 剰余金処分案承認の件 |
| 四号議案 | 令和八年度 事業計画案承認の件 |
| 五号議案 | 令和八年度 収支予算案・経費の賦課金額及びその徴収方法決定の件 |
| 六号議案 | 令和八年度 役員報酬決定の件 |
| 七号議案 | 令和八年度 組合借入金最高限度額決定の件 |

●東天紅 上野店

〒110-8707

東京都台東区池之端 1-4-1

●第一ホテル両国

〒130-0015

東京都墨田区横網 1-6-1



干支を迎えて

二度目の干支を迎えて

昌栄支部 株式会社 高松商店 高 松 秀 明
(昭和五三年十一月生)



昨年、令和七年一月より、代表取締役を引き継ぎ就任。二〇二六年は午年。弊社に入社してから二度目の年男となりました。

元来、この手の事はかなり苦手分野であり、二世会である昌栄青和会にて、何回か寄稿していたのも、忘れるぐらい前となります。

まず。今回、鉾螺昌栄会に所属し、こういった形で寄稿するのは初めてとなります。

さて、今回は「干支を迎えて」という事で、まだ、還暦でもない私でいいのか迷うところではありますが、皆様同様十二年前の二〇一四年を振り返ってみようと思います。その年の流行語大賞は「ダメよくダメダメ」と「集団的自衛権」の二語が選ばれ、流行語大賞の「トップ10」には、他にも「危険ドラッグ」「デング熱」「エボラ出血熱」などがノミネートされており、社会的な出来事や問題を反映した言葉が多く含まれていました。

現在進行形で続いているウクライナ危機もこの年から始まり、近隣国韓国では旅客船事故で三〇〇名以上の死亡・不明者がました。

ディズニ映画「アナと雪の女王」が公開され、国内外で大ヒットし、日本での興行収入は159億円を超えました。昨年は劇団四季でも演じられている演目となっています。

其の頃の私と言うと、前年の二〇一三年は伊勢神宮の第六十二回「式年遷宮」で基本的に二十年毎に、内宮（皇大神宮）・外宮（豊受大神宮）の二つの正宮の正殿、十四の別宮の全ての社殿を造り替えて

神座を遷す行事がある中、混雑をさけるためもあり、その翌年の午年の五月にて伊勢神宮を参拝しそのころからか、「御朱印帳」記載にはまっています。

二〇一五年には出雲大社一〇〇周年という節目の年であり、「米子鬼太郎空港」から観光しながら、境港に移動し、皆生温泉で一泊し、出雲大社を参拝しました。

残念ながら雨が降る中、正門通りも工事中で迂回ルートとなりましたが、ゆつくりと参拝できたと思います。その足で、一畑電車から高速バスに乗り継ぎ、広島にて更に一泊し、宮島・厳島神社を参拝後、広島散策しました。

御朱印を求め、東京大神宮・神田明神・川崎大師と一年毎に参拝しましたが、目に見える「利益（ごりやく）」は特にはありませんでした。コロナ禍がやっと収束してきたように思える昨今ですが、インフルエンザ・マイコプラズマ肺炎と、まだまだ油断ならない日々が続いております。

私自身も三〜四年前から体調的に、疲れやすくなり悩んでいたところ、同じ昌栄会・昌栄青和会メンバーでもあるK氏にお声をかけていただき、メンバー四名ぐらいで、亀戸（一）・錦糸町（三）周辺にて、馴染みのお店を中心にお誘いしていただき、個人的なお悩み相談的な事から同業者としてのアドバイス等もしていただく中、丁度良いタイミングで、開催していただき、急に呼ばれる事もありましたが、仲間の大切さを実感させられました。ストレス解消の場としても楽しんでおります。

また、昌栄青和会の八月納涼会にて昌栄会の方にも参加いただいた時に、お話をさせていただいた際、R氏の活動等に共感しました。その事をきっかけに、学生時代を含めてほとんどライブ等には興味のなかった私ですが、タイミング的に合い、お誘いいただき、昔でいう弾き語りのな雰囲気の中、食堂や居酒屋店内で食事しながら演奏されるジャズに、感動の中、応援をしながら、日程が合うときには参加させていただいております。

このグループでは、リーズナブルで、ちょっとした旅行（散策）にも参加させていただき、その中でも京急お得きっぷは、今まで「デジタルみさきまぐろきっぷ」「デジタルよこすか満喫きっぷ」「デジタル

葉山女子旅きつぷ」を使い、すべてに電車代・バス代・お食事処（選択可能）・おみやげ・オーダー代（選択可能）付きとなっております。旅費よりもお土産代の方が五倍かかる事もありますが、お世話になっている方や、従業員・お客様に少しでも分かち合えればと、そのたびに考慮しております。

最後になりましたが、午年は丙（ひのえ）とも呼ばれ、「火」の要素を持ち「速さ」「情熱」「自由」を象徴し、エネルギーで前向きな行動が成功を引き寄せる年とされており、改めて東浜の皆様とのつながりを実感する中、体調には心がけ、研鑽しつつ、日々精進していきたいと存じます。

縁起物

台京支部 株式会社 フカサワ

深澤 一正

（昭和五三年二月生）



あけましておめでとうございます。今年は「丙午（ひのえうま）」ですね。甲子園で馴染みのある「甲子（きのえね）」やNHK連続テレビ小説で話題になりました「五黄（ごおう）の寅」と同じく私の世代では知名度の高い干支の組み合わせかと思えます。そういえば2年くらい前から丙午に就いての言い伝えを「迷信であった」「江戸時代に流行った作り話だった」など、1966年のコトを一部のメディアが発信しており、改めて大変なことになっていたなと。

昔から、〇〇占いや〇〇性格判断・相性占いというネタに興味は沸かず話題についていけないのですが、ゲン担ぎ？縁起が良い物事？などは好きな方です。最近、縁起が良くなるようにと魚釣りに行く前に包丁を研いでいます。どこかに書いてあったというワケではなく出船の前日、包丁の切れ味が悪くなっているからと妻に頼まれ「これじゃあ釣った魚を捌いている時に指を切りそうだ」と釣れた気

になりながら研ぎ始めたのが切っ掛けでした。研いだ直後の釣果はボウズだったので指を切る心配もありませんでしたが、その数日後の釣果は良く研いだお陰様とニヤニヤしながら包丁の切れ味を確かめ、釣りの数日前に研げば効果があるのだと淡い期待と勝手な解釈を。その後ボウズは無いものの本命が釣れない日、研ぎ忘れた日に大漁、と悲しいことに研ごうが研ぐまいが釣果には全く影響が無く、丁寧に研いだ時などサバとサメしか釣れないなんてコトも。ゲン担ぎとは言えませんが、包丁を研いでおけば少しばかり妻の機嫌取りになりますのでこれからも続けようと思います。

そうそう今年の縁起物、馬肉の話題は欠かせません。わたくし馬刺しは福島派、あのロースとヒレの柔らかさしつとりとした食感がたまらなく、にんにく醤油やにんにく辛子味噌で更に舌が鳴り。桜なべは深川みの屋派、味噌と醤油の割したでさつと煮て、脂身控えめの赤身がとろりとやわらかく、甘辛味噌と溶き卵と絶妙に調和。仕事がつましく、釣りであまい魚が釣れるよう今年は縁起物を何度も頂きたいと思っています。本年もどうぞよろしくお願い致します。

この頃想う

千神螺支部 株式会社 イシトク

石川 隆一

（昭和二十九年十一月生）



年が経つにつれて時が早く過ぎ去っていくのを感じるのとは同世代には共感してもらえらるだろう。社長業を担っていた時は、毎日仕事に追われ時間が過ぎ去っていった。社長業を終えても業界や代理店会、はたまたプライベートでは青年会議所、檀家総代や趣味の会の幹事、大学テニス部OB会などで時間に追われている。最近では新たな趣味として声楽を教わっているが、趣味を増やすと当然にして人との交流が増え結局は自分で忙しくしているようである。業界では二十年ほどお付き合いをさせていただいた、今西元理

事長の時代から新保理事長迄、四代にわたって執行部を務めさせていただいた。力が入ったのは組合の改革であったが、一朝一夕では思うように進まず歯痒い思いをした。組合員が少なくなる中、理事長の仕事の軽減化で副理事長の増員を決めた。一方ではたらき方改革に倣い理事数の削減、理事会数、総務委員会数の軽減などを決議した。しかし実際に実行に移すと協議事項や検討事項に対して時間が足りず、逆に決議迄の期間に時間がかかりすぎる結果となってしまった。弊害を起したことは申し訳ないと思った。何事も机上だけでは済む問題ではなく、実際に進めてみないとわからないことだらけであった。当然にして改革など初めての経験であり、今後も同様な解決を望むところである。今は理事長の采配で現況に合わせ応用に進められていると思う。

組合には計り知れないほどの解決していかなければならない問題が山積しているが、一つ一つ解決していかなければならない。今の執行部や先の執行部において課せられている問題であるが、ただ時間は待つてはくれなさそうである。是非頑張って欲しい。

還暦、ここからが面白い

墨水支部 株式会社 京葉ネジ

木村

勉

(昭和四一年一月生)



ついに私にも、還暦を迎える時が訪れました。若い頃は、60歳といえば隠居のイメージがありました。いざ自分がその年齢になってみると、まだまだこれから。むしろ、これからの方が人生が「面白くなる」気がします。

これまでは、仕事・家庭・地域にと、ひたすら走り続けてきました。正直、つらい日々もありましたが、その分、多くの経験と人とのつながりを得ることができました。そして今、その一つひとつが、自分の「財産」になっていると実感しています。

最近では、若い社員の成長を見るのが何よりの楽しみです。彼らの挑戦や悩みに寄り添いながら、自分の役割も「先頭を走る」から「後方支援する」へと変わってきました。経営とは人を育て、未来を託すこと。その深さと難しさに、改めて向き合っているところです。

還暦は、単なる節目ではなく、新たなステージのスタートライン。この年齢だからこそできることが、まだまだたくさんあります。これからも、明るく、楽しく、チャレンジ精神を忘れずに歩んでまいります。

6回目の午年

山之手支部 株式会社 大崎商会

吉田 賢一郎

(昭和二九年十二月生)



あけましておめでとうございます。
6 回目の年男になり新年を迎えるたびに時の流れが速く感じられるようになりました。

終戦から 9 年、昭和 29 年生まれの私ですが、復興から高度成長のお陰で、今日まで平和に暮らしを享受してまいりました。

幼少期は、家の前の山手通り（環状六号線）沿いには平屋が立ち並び車もまばらでのかな風景が広がっていました。私が社会人になった当初、資料や帳簿書類などは全て手書きで、当時 FAX の便利さに驚いたものです。パソコンの出現で、今や帳簿もペーパーレスそしてメールでのやり取りが主流になり隔世の感があります。

世の中が便利になるにつれてレトロな物に心が惹かれるようになり少し前に新潟で KYOWA クラシックを訪れ古い車や家電を見て、心が落ち着くを感じました。古き良きものには、とても人間味を感じました。

青春ならぬ「赤秋」（グーグルで調べてみてください）を健康で心豊かに過ごしたいと考えております。

皆様に取りまして、善き一年でありますように、お祈りしています。

委員会だより

福利厚生委員会

福利厚生委員長 (有) 齋藤 鉾 齋 藤 隆 司



盤石の2連覇

昨年と全く同じ内容を書いているようで、昨年の文面を少しだけ変えただけといわれかねないですが(笑)。メジャーリーグとボウリングに忙しい10月末秋となりました。

10月25日、メジャーリーグ・大谷翔平率いるロサンゼルス・ドジャースがワールドシリーズ2連覇。東京鉾組合支部対抗ボウリング大会は港支部が2連覇。

2チームとも盤石の2連覇を飾りました。きたる決戦に向けて周回戦な戦力確保と準備をし平常心で戦い抜くことが盤石の2連覇の秘訣なのでしょう。

今年も会場は、品川プリンスホテルボウリングセンターで、9支部対抗で行われました。

優勝したのは港支部。

港支部は今年(株)小山様から大型ルーキーの長岡様が出場され、個人賞も総なめにしてチームも優勝をもぎ取っていかれました。個人成績2ゲーム合計88点はなかなかまぐれでは超えられないスコアで、来年の個人順位の目指すスコアと考えると恐ろしいハイレベルな大会になって



支部優勝 港支部の皆さん



個人優勝
港支部
(株)小山の長岡さん

まいりました。来年は多くの方々に優勝争いを演じて頂きたいので、ハングの点数もさらに増やそうと考えておりますので、来年は皆さま優勝目指してご参加のほどよろしくお願いたします。

毎年健康に10月末のボウリング大会に参加してもらっておりますが、大きな大病やけがなどあまり聞かないので、組合員の皆様の日ごろの健康や生活のルーティンが良いのだろう、と毎年変わらない元気で快活な状態で改めて感じております。

来年も再来年も末永くボウリング大会を開催し続けるために、組合員の参加者の健康と会社のご多幸を祈念しております。

組合員の皆様が来年も健康を維持する為に、あの投手と野手の二刀流を完璧にこなしている健康ルーティンオタクである大谷翔平の日常の健康生活ルーティンをご紹介して寄稿文を終わりたいと思います。

健康な生活のご参考になれば幸いです(笑)

【大谷翔平のルーティン集】

★基本テーマ【食事と睡眠の質をとにかくこだわる】

【食事】炭水化物とタンパク質をバランスよく取り続ける。高たんぱく低脂肪の肉と魚をとにかく取る。一食たりともたんぱく質を抜かない。ヨーグルトと卵は毎日必須食材だそう。

【睡眠】1日8〜10時間の睡眠を心掛ける

『寝室の温度』18〜20度を保つ

『湿度』50〜60%を加湿器で保つ

『照明』寝る前は間接照明にする

『カーテン』遮光カーテンを使用して光を遮断する

『騒音』耳栓をして音を遮断。

『香り』アロマを使用してリラックスした睡眠環境を整える

『携帯電話』寝る2時間前から携帯や電磁波の出るものは触らない

『カフェイン』寝る3時間前からカフェインを摂取しない

流通経営委員会

流通経営委員長 (株) 鉾定本店 金 枝 総 吉



◇ねじ流通商工懇談会
開催日 10月16日(木)、
午後6時～8時

10月16日(木)、第一ホテル両国にて、東部ファスナー協同組合との「ねじ流通商工懇談会」を開催いたしました。この懇談会は毎年10月頃に開催され、東部と東部ファスナーが交互に幹事を務める形で運営され、今年は東鉾が幹事を務めました。

今年は懇談会と懇親会の二部構成とし、懇談会では参加者全員の自己PR冊子を配布し、各テーブルごとに趣味や近況等、自由に意見交換・フリートークを行いました。懇親会では参加者同士の交流を深めることを主な目的としましたが、途中には事前に実施した「景況感アンケート」結果の発表も行われました。商側・工側双方の現状や課題についても活発な意見交換が行われ、終始和やかな雰囲気の中、有意義な時間を過ごすことができました。



講師の中山五輪男氏

◇第2回セミナー開催報告

開催日 11月5日(水)、午後6時30分～8時

講師 中山 五輪男 氏

アステリア(株) C X O (最高変革責任者)

首席エバンジェリスト

一般社団法人 ノーコード推進協会 代表理事

演 題 AIとノーコードの融合が作り出す新たなDXの世界
～金属加工業界における効果的活用方法を詳しく紹介～

11月5日に、アステリア株式会社 C X O (最高変革責任者) 首席エバンジェリスト、一般社団法人ノーコード推進協会代表理事である中山五輪男氏をお招きし、「AIとノーコードの融合が作り出す新たなDXの世界」をテーマにセミナーを開催しました。

中山氏は、AIとノーコード開発がもたらす中小製造業の生産性革命について、AIの国内外の最新事例を交えて解説してくださいました。

またノーコードによる現場主導の業務アプリ開発など、具体的な導入効果の紹介があり、さらに今後は「AIEージェント」が人の代わりに業務を実行する時代が到来すると指摘し、変化を恐れず積極的にAIを活用できる人材の育成が重要と訴えておられました。

参加者からは「新たな時代に突入しているのを実感でき大変参考になった」との声が多く寄せられました。



支部だより

城南支部 旅行記

— 城南支部 —

大栄工業(株) 大西 範彦

11月15日～16日 島根県・鳥取県に向かう城南支部の旅行会を開催致しました。

羽田空港から米子鬼太郎空港へ、空港からはサロンバスにて出雲大社へ向かいました。バス車内にて軽くお酒を飲みつつ、出雲観光センターにて昼食を取り、出雲大社へ。

出雲大社は荘厳な雰囲気包まれていて、古事記や日本書紀にもその歴史が書かれている日本で最も由緒ある場所ということもあり、各々の想いを胸に参拝となりました。

参拝後はバスに乗り込み、国宝松江城へと向かいました。松江城は2015年に国宝に指定され今年でちょうど10周年という記念年に観光することが出来ました。松江城の天守からは四方(360度)を展望することが出来、天守からの展望は圧巻の一言でした。当時のお殿様が見たであろう同じ景色を今、私が見ていると思うと歴史のロマンを感じる時間となりました。

松江城を後にしてバスにて宿泊先のホテルへ向かい、暫しの休憩後に

夕食会場へと歩いて向かいました。夕食は「日本料理 美さご」にて松葉蟹のフルコースを堪能するという今回の旅行会の目的の一つでもあり、11月7日から初水揚げ解禁ということもありその期待を大きく膨らませながら歩いておりました。道中、多少の道の迷いもありましたが、期待が大きくなりすぎて歩き疲れてしまっていると「美さご」に到着しお店の中へ、お部屋には既にこれから食べる蟹料理がずらりと並んでおり、歩いた疲れを忘れて頭の中は食欲で満たされていきました。佃さんの乾杯のご挨拶のあと、皆様は蟹料理に喰らいつき。。。

「蟹は人を無言にさせる」とよく言いますが、まさにそれが現実となり、蟹みそ・蟹刺し・焼き蟹、ゆで蟹を食べている約30分間「無言」の時間が流れていました。かにすきの鍋が出来上がるまでの時間によく皆さんが喋り始め会話が盛り上がったと思ったら、かにすきの蟹を食すとまた「無言」の時間へと、会話の緩急も面白くあり、蟹づくしくして満腹となり大満足の夕食となりました。二次会は村野さんの奥様のご家族が経営する「あばれ太鼓」にて行いました。テキーラで乾杯し、ご用意して頂いた新鮮なお刺身や高麗人参料理などを食べつつ、また自家製の高麗人参酒を飲ませて頂いたことで酔いも絶好調となり、先程の蟹料理の無言の時間が嘘のように大盛り上がる二次会



となりました。その後解散となり、タクシードホテルへ。

二日目 まず22年連続日本庭園 日本一に選ばれた足立美術館へ行きました。早朝の清々しい空気の中、美しい日本庭園を見ながら物思いにふける時間が何とも心地良く、貴重な体験をさせて頂きました。その後バスにて境港「弓ヶ浜」にて、のどくる御膳の昼食となり、水木しげるロードを散策となりました。散策中、千代むすび酒造の酒蔵にて日本酒を頂き、その味に魅了される齋藤さんが印象的でありました。「ぼたん」と雲州人参の里 由志園」を訪れ、米子鬼太郎空港へ。無事に羽田空港へ到着し小杉支部長のお言葉で解散となりました。今回、旅行幹事を務めて頂いた、松島さん・村野さん有難う御座いました。非常に楽しい旅行となりました。

墨田支部 令和6年度総会

— 墨田支部 —

マハナネジ(株) 真 嶺 耕 治

令和7年十一月六日(木) 午後6時より、墨田支部の令和6年度総会を開催いたしました。まずは総会司会者 松島副支部長の挨拶から始まり、議長として洞下支部長が議事を進行、第一号議案から七号議案まで滞りなく可決成立し、半澤監事の閉会の辞でお仕事終了、ここからが本番の懇親会です。

ここ数十年、第一ホテル両国の東天紅で墨田支部は総会を開催して参りましたが、今年度より庶務を拝命した自分がお店を選んで良い事になり、探しに探して本所吾妻橋『割烹とんぼ』にしました。予約の電話で東鉾と告げただけでいつもお世話になってますと言われ、ハテナでしたが他の支部が頭をよぎり、話を合わせそのまま予約させて頂きました。非常に上品なお店で、牛鍋もおいしく堪能、また新たなお店を開拓出来ました。

懇親会ではテックゴセキ吉田社長の司会で進行、吉田鉾螺 吉田社長乾杯のご発声で宴席がスタート、和やかなムードでご歓談、お互

いの近況などを話しました。本日のスタッフツユキさんは新顔2名、私的にはテンションが上がリ、無理を言ってお酒を持ってきたていただくたびにキユンキユン萌え萌えをリクエストし堪能させて頂きました。水割りに酔いしれている内に、あつとゆう間にお時間が過ぎ、松倉社長の本締めにて1次会は終了。

その後、有志が集まったメンバーと近所の

『三代目網元海

鮮水産』に移動し、大盛り上がり、ワイワイガヤガヤとしている内にあつとゆう間に閉店時間の為、解散致しました。1年があつとゆうまに過ぎ、師走を迎えようとしております。令和8年も墨田支部の庶務係なので、新しいお店を色々開拓して行こうと心に誓った日でした。

出席者(敬称略)(洞下泰成、松島洋介、岩楯淳、尾方謙一、酒巻典央、吉田等、成田伸一郎、半澤勇太、吉田幸司、中田実、松倉喜一、真嶺耕治)



台京納涼会

— 台京支部 —

(株) 小池製作所 小池昌彦

9月6日の土曜日に台京鉦螺会の恒例の納涼会を開催しました。

今回は翌年の東鉦総会の開催地である、上野の東天紅を下見がてらといった意味合いもあり、竹内支部長が開催していただきました。

すぐご近所の深澤さんのご紹介です。中華料理のフルコースを堪能できました。深澤さんご夫妻には大変にお世話になります。

9月の例会を兼ねているので、食事の前に竹内支部長から組合本部の諸々の報告があり、竹内さんの発声で乾杯をしました。

2卓に分かれましたが、奥さん達を交え活発な交流となりました。

午後2時からの開始ということ、お腹も空いていたこと

もあり、皆さん活発に召し上がっていました。

総会の開催場所は広い7階ということ、会場の視察ということで待っていました。デザートを食べようかと思った頃、やっと視察ができました。各自、それぞれ構想を練ったことと思います。

台京鉦螺会には、今4人の支部長経験者があります。その内



3人、深澤さん、小池、篠田さんは総務委員長経験者であり、東鉦の総会を何度もやっております。

きつと、竹内支部長と小西さんと古藤さん渡邊さんの力と併せて素晴らしい総会になるよう期待しております。

デザートも出てきて、みなさん満足して帰路につきました。

墨水支部旅行顛末記

— 墨水支部 —

恩田鉦螺(株) 恩田信一

墨水支部では、11月8日(土) 9日(日) 両日に日光・鬼怒川に親睦旅行に行っていました。総勢13名。不参加ながらわざわざ浅草まで見送りにきていただいたS氏の差し入れをいただきつつ、スベシアのcockピットラウンジにて下今市で下車。昼に蕎麦をいただき龍王峡で紅葉を愛で、吊り橋に肝を冷やしつつゆるゆると宿である鬼怒川グランドホテル着。好天にも恵まれ、のんびりとした旅の出だしとなりました。

翌日は生憎の小雨まじりのはっきりしない天気となり、7時朝食、7時40分チェックアウトとなかなか忙しい。幹事のS氏とK氏の費用削減のご努力で、マイクロスバスの使用をやめ徒歩と電車およびタクシー利用に変更していろいろ段取り替えがあったためです。電車とタクシーで日光東照宮に向かい、特別拝観では將軍の間で徳川宗家二十代目を僭称するK支部長が榊を奉納しました。おそらく昨夜の乱行を謝罪したものと推察します。

昼食場所でタクシーを呼んでもらいましたが、ドライバーの方は会津出身で小学校では熊よけの指笛を習うそうです。幹事のS氏も準備万端にホイッスルを持参いただきましたが、駆除されるのも可哀そうなので、今回出会わなくて良かったです。そのあと道の駅に向かい買い物をして、帰りの電車を繰り上げ無事に家路につきました。

小型のキャリーケースを持参しつつもとても入りきれないほど土産



を買いこんだ O 氏が面白かったです。ただ H 氏によるとあらかたスカイツリータウンで買えるものばかりで、O 氏が何をしに日光まで行ったか不明です。

前段にありますが、N 氏、K 氏、K 支部長、M 氏の活躍が特に目立ったことは書き添えておきます。女性の U 氏などは部屋にいたまま

れず、筆者の部屋に飛び込んできました。あとご乱行ではないですが T 副理事長。カラオケを逃げ回る彼の歌を聞けなかったのは今回の旅の残念なところでした。また炭水化物を摂らない H 氏が今回食べていたこと、A 氏が帰り際コートを忘れたことなどやはりエピソードには事欠きません。

当支部の旅行は自由度の高いのが特徴でもあります。旅程の変更や帰りにどこかで解散しあとはご自由に、などは当たり前で、以前の旅行で N 氏のように途中で行方不明になった人もいます。あととにかく元気です。これは筆者が思うに声の大きな K 元支部長と鬼籍にはいられた K 元理事長の影響が大きいのかもしれません。今回も若手の K さ

んは元気で、まあこれも薄毛の至り、と老成した筆者などは微笑ましく見ておりました。K 元支部長、あなたの詩いた種は確実に育っていますよ。K 元理事長もたまには天国から遊びに来て下さい。

港浜螺会旅行会

— 港支部 —

(株) ユタカ産業 野口 俊 家

去る十月三日(金)、港浜螺会は那須塩原方面へ小旅行をしてきました。元々コロナ感染騒動より前から始めた旅行積立金がかなりあり、延び延びになっていましたが、漸く開催をすることになりました。参加者は十二名(内二名は旅館で合流)になり何とか団体らしくなりました。私は企画を任されたので何とか多くの方々に参加していただくと考えました。当初何案かの行き先候補がありましたが、なるべく近くて行くのに楽な那須塩原が良いという事になりました。東京から新幹線で一時間ちょっとの距離です。

(一) 集合

十時半頃那須塩原駅に集合しました。皆さん新幹線で来ましたが、平日開催なので仕事の都合で早く来られない方二名は旅館集合となりました。観光バスは雇わず旅館の専用バスで那須塩原の観光をすることになりました。行きの新幹線内では各自別々の席で乗車したので下車後は皆で笑顔の『やあやあ』の挨拶で始まりました。

(二) 観光

バスの運転は今夜泊まる湯守田中屋の社長なので、事前の打ち合わせの甲斐もあって予定通りに運びました。最初は『藤城清治美術館』で森の中にポツンとあるような一種幻想的な美術館です。藤城清治は戦後有名になったイラストレーターで影絵的な表現をするので作品を見れば皆さん覚えがある筈です。風の又三郎の挿絵が有名ですが、各地の風景画もフィルム化してバックライトで色鮮やかに展示されています。

小一時間鑑賞し皆でほっこりして、次のレストラン『ペニーレイン』

へ行ききました。ここは名前が表すようにビートルズの曲がいつも流れているパン屋兼洋食屋さんです。若い人にはとても人気の店で土日は長蛇の列です。ここで昼食を取りました。さて皆が一堂に座ればいいのですが、生憎二部屋に分かれての昼食となりました。一行の内訳は夫婦二組が入っており、男性五人と夫婦四名＋女性一名の配分になりました。いわば酒・タバコ組対禁煙・コーヒーチームの様相です。

それぞれそれなりに楽しんで、食後はパン類を買い物して、次の『那須高原ロープウェイ』へと向かいました。頂上はそれほど風も強くなかったものの晴天でもなかったのが、眼下に広がるちよつと薄ぼけた景色を眺めて早々に下りのロープウェイへ乗り込みました。紅葉にはまだちよつと早かったので少し残念です。その後旅館へ一路向かいました。皆さんお昼の酒が効いたのかウトウトしつつ車窓を眺めていました。

(三) 湯守田中屋

この旅館は私が公私ともによく利用する旅館で、一度は泰鉦ゴルフ会でも利用し大変好評だったので、今回この港旅行会でも利用する事にしました。塩原温泉街の入り口付近に位置していて近所に同様の施設もない谷あいの一軒家風の旅館です。ご存じの様に塩原温泉にはたくさんさんの旅館があつてバブルの頃は大変な賑わいを見せたのですが、今は廃館も散見され、温泉街はやや侘しい感じさえ漂っていて楽しい気分になれません。そこへ行くと田中屋さんは入口に当たり、余分な



ものを見ずに済むので接待でも気にせず使えます。大体ゴルフ場が近くにあつてゴルフ＋温泉旅館セットで那須高原の観光も合わせできるので大変便利に利用しています。

温泉は一部の部屋には個室露天風呂があるのでそれを利用する方々、又大温泉も完備していてゆったり温泉浴を楽しめ、ぬるくて寝そべられる風呂やボコボコ湧いている風呂、サウナもあつて、皆さん十分に温泉を満喫できたと思います。全体的に家族的で気取っていない旅館なので家族連れでも安心して楽しめます。少し宣伝してしまいました。

(四) 夕食・二次会

十八時からいよいよ夕食です。ここのご自慢は炉端料理です。一連の先付や刺身がでて本番は炉端焼きです。地産地消の文字通り野趣に満ちたお料理と地酒で皆さん大変盛り上がりました。ただ少し問題は、あまりにも多種多彩の素材にまして量も多く、我々高齢者の会員にはとても食べきれず、残すのも申しわけない気持ちもありますが、振り返ると炭水化物類を取るのを抑えて最後の鍋料理まで多少の腹隙間を確保しておけばよかったと思いました。

すっかりお腹が膨れた後は二次会ですが、ここはご自慢の洒落た洋酒バーで旅館の専務(ご子息)が毎年の様にスコットランドへ出向いて調達してきたシングルモルトのウキスキーもあれば、ナパバレーで買い付けたワインも豊富で、皆さんそれぞれ好きな飲み物を注文されて一層話に花が咲きました。二十三時頃まで歓談してこの日は終了です。

(五) 分散行動

翌四日は前日同様社長の運転で観光と買い物をするグループ(第一班)と塩原カントリークラブでゴルフをするグループ(第二班)に分かれての別行動です。第一班は観光と土産物屋で物色?し、特に社長お薦めの地ワインのお店にも寄つて好きな方は購入されたそうです。最後はやはり社長ご推薦の美味しい蕎麦屋で昼食をとり、那須塩原駅迄送っていただき解散となりました。第二班は十時過ぎにスタートして一日ゴルフを楽しみそれぞれ家路につきました。皆さんご無事に帰宅されて一件落着です。

山之手支部 旅行会レポート

(新潟県)

―― 山之手支部 ――

双信工業(株) 水田 三喜男

山之手支部では、令和7年11月14日(金)～15日(土)の1泊2日で新潟県へ旅行会を実施しました。おなじみのメンバー9名が集まり、終始和気あいあいとした雰囲気に進んだ2日間となりました。その様子をレポートします。

■1日目(11月14日・金)

◆東京駅から燕三条へ

朝9時28分、参加者一同が東京駅に集合し、新幹線「とき313号」で燕三条へ出発。

車内では早くも談笑が始まり、楽しい旅の幕開けとなりました。

◆昼食・小嶋屋総本店(燕三条店)

最初の食事は、へぎそばの名店小嶋屋総本店。

一般的な蕎麦と違い、布海苔を使った独特のコシのあるそばに舌鼓を打ち、新潟の銘酒「鶴齢(かくれい)」も楽しみ、贅沢な昼食となりました。

◆観光①諏訪田製作所(すわだせいさくしよ)

続いて訪れたのは、世界的に評価されるニッパ型爪切りメーカー諏訪田製作所。

営業職の女性スタッフにガイドいただきました。ネジ屋の集まりならではの突っ込んだ質問にプレッシャーを感じるとは言いながらも丁寧でわかりやすい説明をしていただきました。

工場内には鍛造・焼き入れ・研磨・調整・仕上げ、検査といった多数の工程ごとに職人さんが配置されており、同社の爪切りは原材料選びから完成まで約60工程・約3か月をかけて仕上げられるとのこと。一本一本に手間と技術が詰まっていることを実感しました。また、諏訪田製作所は社員を大切にしている会社としても印象的でした。おしゃ

で快適な社員食堂は無料で利用できるほか、女性社員の増加に合わせて敷地内へ保育園を誘致。働きやすい環境づくりを徹底しており、我々経営者も見習うべきところが多かったです。

見学の後には爪切りの試し切り体験が用意され、その切れ味に参加者全員が驚き、多くの方が購入されていました。

◆観光②KYOWAクラシックカー&ライフステーション

続いて訪れた施設では、往年の名車がずらりと並び、実際に車に乗る体験もできました。

「子どもの頃に見た車だ!」「若い頃に乗っていたよ!」などと懐かしい話に花が咲き、盛り上がりは最高潮。さらに、骨董品や昭和の生活雑貨も豊富で、意外と盛りだくさんの展示に驚かされました。

◆観光③燕三条地場産センター

燕三条ならではの金物やキッチン用品が並び、各自がお土産を選びながら楽しい時間を過ごしました。ちなみに私はタダフサのパン切り包丁を購入。使用が楽しみです。

◆宿泊①富士屋(弥彦温泉)

宿泊は、弥彦温泉の老舗旅館富士屋。ほのかに硫黄の香りが



漂う含硫黄・ナトリウム・塩化物泉が特徴で、夕食前と朝食前の2回温泉を楽しんだ参加者も多く、日頃の疲れが癒えました。

◆夕食懇親会

夕食懇親会は、今回の企画・進行を務めてくださった、株式会社ヤマザキ・佐野氏の挨拶でスタート。続いて株式会社セガワ・渡瀬氏のご挨拶、株式会社東京メタル・竹田氏の乾杯と進み、美味しい料理と多彩な日本酒とともに談笑の輪が広がりました。その後は二次会、三次会へと続き、夜遅くまで賑やかな時間が続きました。

■2日目(11月15日・土)

◆参拝・彌彦神社(やひこじんじや)

2日目最初の訪問地は越後一宮彌彦神社。ちょうど菊まつりが開催されており、境内では色鮮やかな菊が目を楽しませてくれました。参拝では独自の作法である、二礼四拍手一礼を行い、仕事の安全と家族の健康を祈願しました。

◆弥彦山ロープウェイ

彌彦神社からロープウェイ乗り場へ向かう道中は、結構な坂道でしたが無料バスが運行されており助かりました。がロープウェイを降りてからの階段が予想以上に長く、「これ結構きつい(笑)」と軽い運動状態に。しかし、山頂から望む日本海と佐渡島も見える大パノラマは圧巻で、その疲れも吹き飛ばす絶景でした。

◆昼食・カーブドッチワイナリー

旅の締めくくりはカーブドッチワイナリーでのランチ。料理ごとにおすすめのワインが提供されるいわゆるペアリングで頂きながら優雅なひとときを楽しみました。なかでも注目を集めたのがオレンジワイン。白ぶどうを赤ワインの製法で仕込むワインで、スタッフの説明に「オレンジ使っていないのね!」と笑いが起きる場面もありました。ワインが進んだこともあり、予定は少し押し押し気味に。そのため道の駅での買い物はパスし、新潟駅でゆっくり土産選びをしました。

◆帰路

15時38分発「とき328号」で東京へ向かい解散となりました。

■おわりに

今回の旅行会は、おなじみのメンバーが集まり、学びと笑いが詰まっ

た有意義な旅となりました。そして何より、企画から当日の進行までご尽力いただいた株式会社ヤマザキ・佐野氏に深く御礼申し上げます。佐野さん、本当にありがとうございました。

昌栄青和会だより

合同懇親会

昌栄青和会(株)平渡商店 平渡芳嗣

昌栄青和会は10月10日に開催された東京都及び神奈川県神奈川県の昌栄青和会(後継者会)合同の懇親会に参加しました。

神奈川県のNKBK情報交換会から8名、東京都の泰鉄会から8名、同じく東京都の昌栄青和会から6名の総勢22名が集まり、横浜中華街『景珍楼新館』にて開催されました。

合同例会式次第の下で泰鉄会の大西氏が進行役をされ、NKBK情報交換会の筒井氏の乾杯の発声で開会。二世会の各会は2024年に第4回が開催されたNOSTに引き続き



交流の輪を広げようと機会を設けています。
食事とお酒を楽しみながら最近の業況や業界の出来事、その他政治経済の話題や個人的な趣味を紹介するなど時間の許す限り大いに盛り上がりました。

あつという間に 2 時間が経過してしまい、名残惜しいですが昌栄青和会の杉山氏が中締め挨拶を行いました。最後に新聞社 2 社に集合写真を撮影して頂き合同懇親会は終了しました。

既に顔見知りが増えてきて徐々に慣れてきていますが、今回の懇親会で初対面の挨拶をする方もいらっしゃいました。参加者はそれぞれ機を見て自己紹介や名刺交換を行い積極的に参加していました。引き続き業界間の交流が相互の発展に繋がることを期待して継続していきたいと思います。

最後になりましたが、お忙しい中でご参加下さった皆さまと企画運営にご尽力いただいた各代表・各幹事の方々に感謝申し上げます。

泰鉦会だより

泰鉦会 臨時総会・忘年会

泰鉦会 (株) 中村商会 中村 圭 人

おだやかな雰囲気のもと開催された臨時総会では、例年通りの議事が進行した。

ふかい信頼を寄せられる来年度幹事三名（篠崎さん、深澤さん、大西さん）が立候補し、全会一致で承認された。

たいやくを終えることとなった大西さんを始め、畑さんと私の今年度幹事が挨拶をして、

りんじ総会は無事閉会し忘年会へ。

どの料理も趣向を凝らしたイタリアンで構成され、うま味豊かなナパ・ヴァレー産ワインが各皿に寄り添い、もれなく参加者それぞれが一年を振り返る賑やかな時間となった。あらたな幹事の御三方からの挨拶に続き、

りよう名——岩楯さん・小杉さん——よりご卒業に際しての真心こもったお言葉が寄せられた。

がん来、本会は会則第一条に掲げられているように、「経営者としての感覚と教養を持たせるため事業経営に関する諸般の事象をとらえ、

ともに相より相助けて研鑽にはげむ」という意味をお二人の言葉から会員一同再認識した。

うけ継がれてきた歴史を 20 年以上もの間支えてくださったお二人の、

ご尽力には心より感謝申し上げます。

ざん念ではあるが、お二人のご卒業を噛みしめながら、

い後入会される会員へはお二人の思いを繋いでいきたいと思つた忘年会であつた。

まずは再来年に迎える 70 周年に向けて、

しつかりと会員同士で支えあい研鑽をし、

たい鉦会の絆をより深いものにしていきたい。



新社長紹介

◇千神螺支部

株式会社入部螺子製作所

代表取締役社長 田島綾子氏



令和七年十月をもちまして、代表取締役社長に就任いたしました田島綾子でございます。弊社は昭和二十八年の創業以来、多くの皆さまに支えられ、本年度創業七十二を迎えることができました。初代である祖父、二代目の父が築いてきたお客様との信頼を大切にしつつ、現代のニーズに応える企業として取り組んでいく所存です。

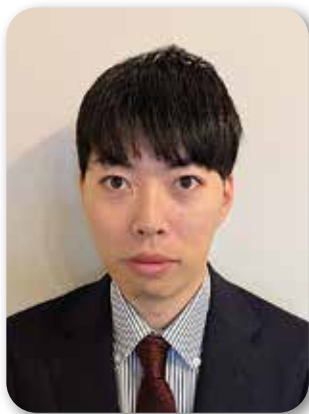
前職ではオフィス空間の設計に携わり、働く人々が心地よく過ごせる環境づくりに注力してまいりました。一見するとねじ業界とは異なる分野に思われますが、「精度へのこだわり」や「現場で安全に使用されるための納まりへの配慮」など、多くの共通点がございます。設計で培った、使う人の視点や細部を丁寧に積み上げる姿勢を、今後の業務にも活かしていきたいと考えております。

引き続き、皆さまのお役に立てる企業として努力を重ねてまいります。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

◇山之手支部

日本ケミカルスクリー株式会社

代表取締役 判治倫泰氏



令和七年四月十四日、弊社代表取締役判治文雄が逝去し、令和七年七月より、日本ケミカルスクリー株式会社の代表取締役役に就任いたしました判治倫泰と申します。

弊社は、故判治文雄が昭和四十年に創業し、本年度創業六十年を迎えました。私は平成二十六年に入社し、今年で十一年目となります。入社以来、国内外での営業活動や工場での業務を通じて多くの経験を積み、先代が築き上げてきた弊社および製品に対する思いを深く学んでまいりました。

その志を受け継ぎ、より一層お客様から信頼される企業であり続けるとともに、弊社を支えてくださる従業員、そして長年ご愛顧いただいているお客様への責務を果たしていく所存です。

まだまだ未熟な若輩者ではございますが、社業の発展に全力を尽くしてまいります。今後とも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

私の逸品

ラブブ (LABUBU)

墨田支部 株式会社佐竹製作所 尾方 謙一

皆さんは「ラブブ (LABUBU)」という人形を存じでしょうか？香港のアーティストが手がけ、中国の「POP MART」から発売されているデザインーズトイの人気キャラクターです。

2024年にはBLACKPINKのリサをはじめ、リアーナ、マドンナ、デビッド・ベッカムといったセレブや多くのインフルエンサーがSNSで紹介したことから、世界的な人気に火が付きました。

POP MARTの直営店は東京では原宿・渋谷・お台場などにあり、いずれも毎日3時間待ちの行列。それでも売り切れが続出するほどの入手困難ぶりです。

ネット上では、限定品やシークレット版（ブラインドボックスに稀に入っているレアバージョン）が発売直後から定価の数倍の値で転売されることもしばしば。

そんな中、家族から「どうしても欲しい」と頼まれ、あらゆる伝手を駆使して海外の店舗でようやく入手しました。（正規品ではありませんが、専用の服まであるので写真をご覧ください）

正直に言うと、私自身にはこの人形のどこが良いのか、いまひとつピンときません。しかし、これは心理学でいう「希少性の原理」を巧みに利用した戦略。

「手に入りにくいものほど、より価値があると感じてしまう」——人間の心理を突いたビジネスモデルなのです。

おそらく来年には人気も一段落するでしょう。

けれども、家族の「友達」の分まで余計に手に入れただけで、私の家庭内での「株」はこれまでにないほど爆上がり（笑）。というわけで、私にとって2025年の「逸品」は、単に優れた品物というよりも——「希少性が高く、個性があり、特別な価値や魅力を持ち、他人にちょっと自慢できるもの」。そんな視点で紹介させていただきました。まだご存じない方は、ぜひ一度検索してみてください。



情報室

大人の部活、サイコー。

広報委員 株式会社トウヨーネジ 内田 佳菜子

突然ですが、ブラジリアン柔術という格闘技をご存じでしょうか。かつてPRIDEという総合格闘技で、グレイシー一族と呼ばれる選手たちがブラジリアン柔術を駆使し、次々と試合を制して話題になりました。あれから約25年……まさか自分がブラジリアン柔術を始めるなんて、夢にも思っていないませんでした。

もともと私は「ム」や「PRIDE」を観るのが好きで、キックボクシングにも興味がありません。そんなある日、地元の駅前にキックボクシングとブラジリアン柔術のジムがオープンするとの情報が。好奇心半分、軽い気持ちで無料体験に参加してみることになりました。

キックボクシングは楽しくて、インストラクターも気さく。初心者でも分かりやすく教えてくれるので、「これは続けられそうだな」と思い、入会しました。しばらくはキックボクシングに夢中になっていましたが、半年ほど経ったある日、インストラクターに声をかけられました。「内田さん、柔術やってみない？」と。最初は怖々と練習に参加してみると……驚きました。想像以上の運動量で、特に腹筋をよく使うのです。



ブラジリアン柔術は、関節技や締め技で一本を狙うだけでなく、ポイント制もあります。技のバリエーションは膨大で、それに合わせてエスケープ（技から逃れる方法）も多彩。練習を重ねながら、少しずつ理解していきます。

何より面白いのは、体格や力に関係なく、技術で勝負できることです。力任せではなく、体の効率的な使い方を学べるので、護身術としても役立ちます。実際、女性も多く活躍していて、芸能人では中村アンさんや川口春奈さんも柔術に励んでいるそうです。

そしてもうひとつ、柔術をやっている感じがあります。それは「マインドフルネス」になれるということ。スパarring中は、仕事や家庭のことを考える余裕など一切ありません。目の前の相手に集中することだけに全神経を使います。終わった後、体はクタクタですが、精神的には驚くほど爽快で、心が軽くなるのです。

そんなある日、仲間から試合の誘いがありました。「私が試合……？」と戸惑いましたが、減多にないチャンスだと思い、出場を決意。代々木第二体育館で、グアム出身の選手とワンマッチの機会を得ました。試合は延長戦までもつれ、最後はよるめいたところに相手が乗ってきて敗北。しかし、セコンドの先生の声は最後まで耳に届き、とても心強く感じました。応援の声が選手にパワーを与える——その実感を、私は初めて味わった瞬間でした。

まさか自分が、運動はもちろん、格闘技に目覚めるなんて夢にも思いませんでした。けれど、年齢も性別も関係なく、同じ志を持った仲間たちとノーサイドで語り合える世界は、仕事と家の往復だけだった私にとって、まさに輝かしい居場所となりました。

現在は少しペースを落とし、活動していますが、基礎練習は日課として続けながら、いづれ復帰したいと思っています。大人の部活って、本当にサイコーです。



結果発表

『第2回 川柳コンクール』

広報委員長 尾方 謙一

【はじめに】

広報委員会2025年特別企画の『第2回川柳コンクール』の結果につきまして本誌上にて以下発表させていただきます。

まずは、ご応募いただきました組合員二六社様と、ご応募いただきました二二一句の作者様に、広報委員会より厚く御礼申し上げます。広報委員会では、できるだけ多くの方々に気軽に楽しくご参加いただける企画を行いたいとの考えから、2013年に引き続き、川柳コンクールを開催しようということになりました。



【審査結果】

以下応募作品の審査結果ですが、その判定基準としましては、テーマごとに以下の観点で審査させていただきました。

『締結』：ネジ、ボルト、ナット、締める、捻じる、等々をテーマに、ネジ業界にまつわる、もろもろを主題にしてニヤツと笑えるものを選定。

『世相』：2025年の話題（インバウンド、トランプ政権、備蓄米、円安、等々）をテーマに、この時代性を表すような主題にして、ニヤツと笑えるものを選定。

多数の応募作品の中から、川柳の特性と言われる『穿（うが）ち』『おかしみ』『軽み』がよく表現されているかを十分に吟味し、最優秀賞一句、優秀賞一句、佳作二句を選抜いたしました。

最優秀賞作品（副賞：賞品券2万円）

『締めすぎて 折れるのいつも 下請けか』 ナット太郎

この作品は「締結」というテーマを、ねじ卸売業界ならではのユーモアを交えつつ描いた秀作です。

「締めすぎて折れる」という表現は、ねじの物理的な特性を巧みに使った直接的な描写で、職業的実感がよく表れています。一方で「折れるのいつも下請けか」という句により、単なる現象の描写にとどまらず、取引関係や現場の人間模様までもユーモラスに暗示しており、業界内の「あるある」を軽妙に表現しています。

技術的な用語と社会的背景を絶妙に組み合わせることで、読者に笑いと共感をもたらす点が非常に優れています。句全体のリズムも自然で、五七・五の中でテンポよく情景が浮かび上がるのも高評価です。



優秀賞作品（副賞：賞品券1万円）

『ユニクロに ネジを浮かべる 業界人』 まじや蔵

この作品は、一見「ユニクロ（衣料ブランド）」を連想させますが、「ユニクロメッキ」という「メッキ」の一種を踏まえた業界内ジョークになっています。

「ユニクロ」という語の二重性（ファッションメッキ）を活かして、一般人が「ファッションブランド」を思い浮かべる中、業界人は「メッキ処理」を想起する。この認識のズレ自体が笑いの核になっている、専門知識を前提とした知的ユーモアと風刺が光る傑作です。

佳作 (副賞：賞品券5千円)**『締まらない 財布のひもと 腹まわり』 ねこたろう**

この作品は身近な「締める」という動作や状態を、日常生活に置き換えてユーモアたっぷりに表現しています。「締まらない」という言葉を、経済的な面(財布のひも)と身体的な面(腹まわり)の両方にかけている点が巧みです。

物価上昇や健康志向の高まり、自己管理の難しさなど、誰もが感じる日常の「締められなさ」を描写することで、読者に親近感を与えつつ、「締める」というテーマを日常的に咀嚼した点が秀逸です。

佳作 (副賞：賞品券5千円)**『繋げよう 未来へ技術 ミヤクミヤクと』 たぬさがお**

この作品は、大阪万博2025という具体的背景を活かしつつ、未来への技術や人々のつながりを明るく表現した一句。

難しい専門知識を必要とせず、誰もが「未来に希望をつなげる」というメッセージを受け取れる点が魅力です。

擬人化されたマスコット「ミヤクミヤク」を通して、親近感と遊び心を添えた点で、楽しくも示唆に富む川柳として評価できます。

【まとめ】

今回の川柳コンクールでは、2013年に引き続き、句と雅号による審査ということで、今回の結果発表でも支部名や会社の所属は一切明らかにしておりません。

これは審査においても同様で、審査の過程でも入賞候補作リストにはそれらを削除して審査しました。

審査は広報委員会で行いましたが、委員メンバーは支部や会社を代表して出席しているので、作品の良し悪し以外にも支部や会社が特定されてしまいますと、どうしても情が働いてしまい本来の作品主体の

評価が難しいとの判断からです。作者がどの誰かを、人情として知りたいのはやまやまですが趣旨を貫いて公表いたしません。

賞品は広報委員会より郵送にて作品応募会社様にお送り申し上げますので、組合員様は作者にお渡しいただけると幸いです。

以上を持ちまして、川柳コンクルの企画をお開きとさせていただきます。ご協力重ね重ねありがとうございます。

組合員だより**◇社名変更**

港支部 新社名 (株) トラスト・馬場 (旧 (株) 馬場)

(令和8年1月1日より)

訃報

昌栄支部 有限会社日進鋳螺

前代表取締役 篠田 昌宏 様

一月一〇日に逝去されました

謹んで哀悼の意を表しご報告いたします

表紙のことば

諏訪神社例大祭で松本社中江戸の里神楽が奉納された様子を撮影しました。

日本の伝統芸能に触れられた貴重な体験でした。

昌栄支部 有限会社トキザキファスナー 時 崎 雅 広

◆東浜ゴルフ会報告◆

本年度第 2 回（通算第 165 回）の泰浜会合同コンペが 9 月 18 日に、行われました。成績は左記のとおりです。

第 165 回成績
茨城ゴルフ倶楽部

順位	氏 名
優勝	石川 隆一
二位	松本 浩
三位	小谷 彰宏
四位	山田 茂始
五位	中村 勝士
六位	石川 康隆
七位	深澤 一男

本年度第 3 回（通算第 166 回）のコンペが 11 月 26 日に行われました。成績は左記のとおりです。

第 166 回成績
太平洋クラブ
八千代コース

順位	氏 名
優勝	松本 浩
二位	中村 勝士
三位	小谷 彰宏
四位	吉田 賢一郎
五位	石川 隆一
六位	新保 良孝
七位	馬場 由喜



組合の会議から

◇九月	規格委員会	午後六時三〇分（東浜会館）
九日	流通経営委員会	午後六時（東浜会館）
一〇日	理事会	午後五時三〇分（東浜会館）
十六日	総務委員会	午後六時（東浜会館）
二四日	総務委員会	午後六時（東浜会館）
◇十月	総務委員会	午後六時（東浜会館）
二三日	総務委員会	午後六時（東浜会館）
二八日	総務委員会	午後六時（東浜会館）
◇十一月	理事会	午後五時三〇分（東浜会館）
五日	規格委員会	午後六時三〇分（東浜会館）
十一日	規格委員会	午後六時三〇分（東浜会館）
二〇日	規格委員会	午後六時（韻松亭）
◇十二月	総務委員会	午後六時（新世界菜館）
四日	福利厚生委員会	午後六時（江戸蕎麦手打處岩ぶち）
九日	規格委員会	午後六時三〇分（能登美）
十日	理事・監事会	午後六時（東武ホテルレバント東京）
十五日	流通経営委員会	午後六時（銀座維新號）
十七日	流通経営委員会	午後六時（銀座維新號）

